

プレスリリース

当プレスリリースについて

この資料は、ドイツのベーリンガーインゲルハイム（Boehringer Ingelheim GmbH）および協和キリン株式会社が1月5日に発表した英文プレスリリースをもとに日本語に翻訳したものです。なお、日本の法規制などの観点から一部、削除、改変または追記している部分があります。この資料の内容および解釈については英語のオリジナルが優先することをご了承ください。

ベーリンガーインゲルハイム、線維化を伴う炎症性疾患の患者さんへの取り組みの一環として、協和キリンから新規化合物のライセンスを取得

2024年1月5日 ドイツ／インゲルハイム、日本／東京

ベーリンガーインゲルハイムと協和キリン株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長 CEO：宮本 昌志、以下「協和キリン」）は、線維化を伴う炎症性疾患に対する新規ファースト・イン・クラス治療薬の開発に向けたライセンス契約を締結いたしましたのでお知らせします。ベーリンガーインゲルハイムは、線維化を伴う炎症性疾患領域における専門性とリーダーシップを足がかりとして革新的な治療法を開発し、患者さんの転帰の改善を目標とする取り組みを進めており、今回の新たな開発プログラムは、同社の線維化を伴う炎症性疾患領域における取り組みの一環として進めるものです。

契約条件に基づき、ベーリンガーインゲルハイムは協和キリンより、線維化を伴う炎症性疾患に対する新規ファースト・イン・クラス治療薬について全世界での独占的開発権を取得します。協和キリンは、契約一時金および開発・申請・商業化マイルストーン達成に際して成功報酬として、最大で4億1000万ユーロを受領するほか、販売に応じたロイヤルティを受領する権利を有します。

線維化を伴う炎症性疾患は、持続的な感染、自己免疫反応、アレルギー反応や組織損傷などの様々な要因により引き起こされる慢性炎症に起因する疾患です。この疾患には、全身性強皮症、炎症性腸疾患、肺線維症などがあり、合併症や死亡の大きな原因となっています。線維化を伴う炎症性疾患は、患者さんの生活に心身ともに大きな影響をもたらす疾患であり、全世界の死亡の3分の1以上を占めています。

ベーリンガーインゲルハイムの創薬研究担当コーポレートシニアバイスプレジデント兼グローバルヘッド Clive R. Wood (Ph.D.) は、次のように述べています。「線維化を伴う炎症性疾患の患者さんには依然として大きなアンメットニーズがあります。今回、協和キリンとパートナー関係を築き、この新たな連携によって新規の革新的治療薬を当社のポートフォリオ品目として開発し、治療薬を患者さんにお届けする機会が得られたことを大変喜ばしく感じています」

協和キリンの取締役専務執行役員 山下武美は、次のように述べています。「このたび、ベーリンガーインゲルハイムとライセンス契約締結に至ったことをうれしく思います。今回導出する化合物は、協和キリンの革新的な創薬技術と疾患バイオロジーの理解から生まれたものです。ベーリンガーインゲルハイムは線維化を伴う炎症性疾患の領域における高い専門性を有しており、この化合物を必要とする患者さんに届け、価値を最大化するための最良のパートナーであると我々は確信しています」

ベーリンガーインゲルハイムは、線維化を伴う炎症性疾患の治療薬の研究開発におけるグローバルリーダーです。同社は、オフェブ®を特発性肺線維症（IPF）、進行性線維化を伴う間質性肺疾患（PF-ILD）、および全身性強皮症に伴う間質性肺疾患（SSc-ILD）の治療薬としてお届けし、肺線維症治療を牽引してきました。ホスホジエステラーゼ 4B（PDE4B）阻害剤である BI 1015550 は現在、IPF をはじめとする進行性の線維化を伴う間質性肺疾患の患者さんを対象とした第 3 相臨床試験で評価中です。

ベーリンガーインゲルハイムについて

ベーリンガーインゲルハイムは、世代を超えて生活を変革する画期的な医薬品や治療法の開発に取り組んでいます。研究開発主導型のバイオ製薬企業のリーディングカンパニーとして、アンメットメディカルニーズの高い分野において、イノベーションによる価値の創出を目指しています。1885 年の創立以来、ベーリンガーインゲルハイムは、株式を公開しない独立した企業形態により長期的かつサステナブルな視点を維持しています。ヒト用医療用医薬品とアニマルヘルスの 2 つの事業分野において、53,000 人以上の社員が世界 130 カ国以上で事業を展開しています。

詳細は、下記をご参照ください。

<https://www.boehringer-ingenheim.com/>（ベーリンガーインゲルハイム）

<https://www.boehringer-ingenheim.com/jp/>（ベーリンガーインゲルハイム ジャパン）

<https://annualreport.boehringer-ingenheim.com/2022/>（アニュアルレポート 英語）

協和キリンについて

協和キリンは、Life-changing な価値をもつ新しい医薬品を創出し、患者さんへ届けることに真摯に取り組んでいます。70 年以上の歴史をもつ日本発のグローバル・スペシャリティファーマとして、腎、がん、免疫・アレルギー、中枢神経などの様々な治療領域において、抗体医薬品の研究をはじめ最先端の科学・技術の応用に邁進し、患者さんと社会のニーズに応えます。4 つの地域 – 日本、アジア/オセアニア、北米、EMEA – にわたり、協和キリンは共通の価値観であるコミットメント・トゥ・ライフ、イノベーション、チームワーク/和・輪、インテグリティのもと、病気と向き合う人々に笑顔をもたらすために尽力します。

詳細は、下記をご参照ください。

<https://www.kyowakirin.co.jp/>